

熊谷東中学校だより  
第6号

# 東雲

令和元年10月25日発行

＜学校教育目標＞

志高く 優しさのある生徒  
自ら学び考える生徒  
たくましく生きる生徒

笑顔・志・本気を合言葉に、生徒が自分と自分の学校に日本一の誇りを持って卒業することができる学校をつくる

4つの実践

- 朝ごはんをしっかり食べる。
- 呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。
- 「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- 友だちをたくさんつくる。

3減運動

減

テレビの時間を減らします。

減

ゲームの時間を減らします。

減

スマートフォン・携帯ゲーム機やパソコンに費やす時間を減らします。

熊谷市立熊谷東中学校長 原口 政明

## ラグビーワールドカップから学ぼう

東雲学級の前の金木犀が、秋の心地よい香りを中庭に広げてくれています。早いもので、一年の折り返しの日を迎えました。前期には、毎年の行事に加え、ラグビーワールドカップ関係の催しでの大評判、県の教育長さん・市長さん・県内外からの視察の皆さんのご訪問での好印象、部活動での大活躍や埼玉・教育ふれあい賞の受賞、トイレ改修での学校環境の向上など、本校のプラスとなる出来事が続きました。また、先日は、避難所を開設し、377名の皆さんに避難していただきました。いろいろなことがありましたが、地域や保護者の皆様のご支援と生徒のがんばりで、半年を過ごすことができました。生徒の誇り、学校の誇りが増えました。残り半年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、一昨日の始業式では、「ラグビーワールドカップから学ぼう」と生徒たちに投げかけました。熊谷市では、「ラグビー・オリパラプロジェクト」という事業を教育の中心に掲げて教育活動を進めています。本校でも、先日のロシアやサモアへの応援のような、ラグビーワールドカップに関連した教育活動を進めています。そこで、生徒たちに、「ラグビーワールドカップでの一番の学びは何ですか？」と聞いてみました。時間をとって、周りの生徒と話し合ってもらいました。「ノーサイドの精神を学んだ」と発表してくれた生徒がいました。始業式の後、何人かの生徒に尋ねてみると、「ワンフォーオール オールフォーワンの精神」、「応援での学校のまとまり」、「状況判断の大切さ」、「困難に立ち向かう努力」、「チームの一体感」、「明るく向かっていく姿勢」など、いろいろな考えを聞くことができました。生徒は、一生に一度のこの体験を通して、実は、確実に学んでいるのです。ぜひ、子どもとラグビーワールドカップについて、気軽に話し合ってみてください。この貴重な体験を、さらに深みのあるものにしていきましょう。

次は、オリンピック・パラリンピックです。私は、前回の東京オリンピックのとき、5歳でした。隣のお宅のテレビで、開会式の様子を白黒テレビで眺めたのを覚えています。今後も、ラグビー・オリパラで、本校の教育にいろどりを添えていきたいと思えます。ご協力をお願いいたします。

### ＜お知らせ＞

埼玉県では、毎年、教育活動に熱心に取り組む学校や教育関連団体を「埼玉・教育ふれあい賞」として表彰しています。今年度、本校と佐谷田小・久下小とで30年以上続けてきた『ムサシトミヨの保護・繁殖活動』が選ばれました。環境委員を代表して委員長の新妻くん、副委員長の栗原くんが、「水槽内繁殖」の取組について発表しました。3校でこれまで8000匹以上の繁殖に成功しています。研究を続けてきた先輩方を代表していただいた賞です。



